

The KeMCo Review 04

Call for Papers 論文募集

プロポーザル〆切

2025 年 6 月 9 日（月）

Special issue: Printed Matter

特集 プリンテッド・マター (Printed Matter)

「The KeMCo Review」（ケムコ レビュー）は、慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）の活動に関連する諸領域における、学内外の研究や実践の共有化を目的とする学術誌です。2026 年 3 月に刊行予定の第 3 号に掲載する論文・研究ノートを下記の通り募集いたします。みなさまの研究、実践の成果を、この機会にぜひご共有くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 特集論文、特集研究ノート

特集のテーマは、「**プリンテッド・マター (Printed Matter)**」です。テーマ設定について詳しくは、裏面をご参照ください。

2. 一般論文、研究ノート

KeMCo の活動に関連する諸領域を対象とした論文および研究ノートを募集します。以下に主なトピックを示しますが、関連する投稿であれば幅広く受け付けます。一般論文と研究ノートの別については投稿規程をご参照ください。

コモンズ、大学と文化財、展覧会、コレクション、オブジェクト・ベースト・ラーニング、カラーニング、オープン・エデュケーション、コミュニティとミュージアム、デジタル・ミュージアム、デジタル・ファブリケーション・ラボ、文化財関連情報、文化と情報技術、デジタル・アーカイブ、デジタル・ヒューマニティーズ、オープン・サイエンス

お問合せ先

The KeMCo Review 編集部

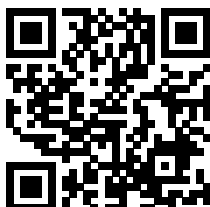
（慶應義塾ミュージアム・コモンズ）

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

Tel. 03-5427-2021 Fax. 03-5427-2022

Email: kemco-review-group@keio.jp

論文募集ウェブサイト



投稿を希望される方は、投稿資格を確認の上、まずウェブサイト（<https://kemco.keio.ac.jp/all-post/20250512/>）からプロポーザルをご提出ください。投稿予定原稿が本誌の範疇に含まれるかを編集委員会で確認の上、ご投稿の可否をご連絡いたします。投稿が許可されましたら、本原稿をご投稿ください。本原稿は、査読者による審査を経て採録の可否を決定します。

刊行までのスケジュール

プロポーザルの提出〆切：2025 年 6 月 9 日（月）

プロポーザルへの回答：2025 年 6 月 16 日（月）まで

本原稿の提出〆切：2025 年 8 月 31 日（日）

査読結果の通知：2025 年 11 月

刊行：2026 年 3 月

※ 上記のスケジュールは、査読に要する時間や投稿希望者の数などにより変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

投稿資格者

1. KeMCo 所員
2. 慶應義塾教職員および大学院生
3. 修士の学位を有する者もしくはこれと同等以上の研究者
4. 上記のものを投稿責任者とする著者グループ

掲載料（APC）なし

特集 プリンテッド・マター (Printed Matter)

「プリンテッド・マター (printed matter)」は通常、印刷物と訳されますが、書籍から、雑誌や冊子、エフェメラと呼ばれる一過性の印刷物など、様々な形態と目的をもつ印刷物を想定することができます。

慶應義塾ミュージアム・commons (KeMCo) では、2024 年春に「エフェメラ：印刷物と表現」展(2024 年 3 月 18 日～5 月 10 日、展覧会カタログ『エフェメラ：印刷物と表現』2024 年 3 月 31 日発行)を開催し、第二次世界大戦後、とりわけ 1960 年代以降の美術の中で、紙面を舞台に展開したさまざまな実験に着目しました。例えば、複数性をもち安価に手にできる媒体を敢えて選ぶ表現者たちの姿勢は、新しい作品の在り方への挑戦でもありましたが、2020 年代の現在から振り返って見ると、印刷物の社会的な機能や、メディアとしての位置付けを通して 50 年の時代の変化を示すものでもありました。

高度にデジタル化が進展した今日の社会において、印刷することの意味、在り方自体が根本的に変化していると言わざるを得ません。印刷物が担ってきた、情報を伝達し、知を蓄え伝えるものとしての役割に大きな変化が訪れています。一方、印刷物に対して非常に鋭敏な感覚を持って臨み、それをメディアとして表現を展開する表現者たちもいます。そうであるならば、現在は、印刷物について改めて考えを巡らすにふさわしい時機なのではないでしょうか。さらには、「プリンテッド・マター」をより広義に捉え、プリントされたもの、印されたものを巡る様々な議論を展開することも可能ではないでしょうか。

このような背景から、The KeMCo Review の第 4 号では、「プリンテッド・マター」を特集として設定し、プリンテッド・マターに接続する国内外の実践や研究を広く参照し議論する機会とします。

大学だけではなく、ミュージアム、ライブラリ、アーカイヴ等の文化機関をはじめ、幅広いフィールドにおける様々な研究、実践の分析と知見の共有等を歓迎します。

皆様の実践、研究の成果をこの機会にぜひご共有くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

特集論文・特集研究ノート／一般論文・研究ノート の別

1. 特集論文

著者のオリジナルな研究・開発・実践等の成果をまとめた、特集に関連する著述であり、学術的貢献が十分に認められるもの。

2. 特集研究ノート

著者のオリジナルな研究・開発・実践等の成果をまとめた、特集に関連する著述であり、今後の研究および実践を発展・活性化させる契機となるもの。

3. 一般論文

著者のオリジナルな研究・開発・実践等の成果をまとめた、本誌の目的に関連する著述であり、学術的貢献が十分に認められるもの。

4. 研究ノート

著者のオリジナルな研究・開発・実践等の成果をまとめた、本誌の目的に関連する著述であり、今後の研究および実践を発展・活性化させる契機となるもの。

The KeMCo Review の既刊は JSTAGE で公開しています。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/kemcoreview/>

